

2018年度ユネスコ・スクール活動実践報告

明星学園 清泉幼稚園
園長 小倉 勝郎

「みんなちがってみんないい！」

文化、言葉、習慣…。それぞれに生まれ育った環境は違っても、そして、人間だけではなく動物たちや花たち、小さなちいさなアリだって、み～んな地球の仲間。このみんなの故郷、青い『地球』を守って、いこうという意識を育て、小さな幼稚園の子どもたちにも出来ることを少しずつやっいていこうと、これまでの活動を更に明確化し、本園は平成21年秋に、北海道の第1号“ユネスコ・スクール（幼稚園）”として認定を受け、現在の活動に至っています。

活動報告 *いろいろなことに取り組みました！*



エコキャップ・リングプル収集（学校との共同募集）

お家の方々や近隣の会社の方々もご協力していただき、集まったエコキャップやリングプルを、近隣の中学校に届け、学生さんたちやライオンズクラブさんにバトンタッチ☆地域の交流にもなって小さなみんなにとって、一番取り組み易い活動として定着しています。



地域の老人施設訪問（慰問）

発表会で練習した遊戯や歌を披露したり、七夕や雛祭りなどの行事を、施設に訪問して一緒にお祝いしたり、施設の方々が園に来園して伝承遊びを教えてくれたり・・・



子どもたちの可愛らしい笑顔や輝く演技に皆さん笑顔が絶えず、中には涙を見せる方も・・・。「おじいちゃんの手、柔らかかった♪」ギュッと強く握手してくれた温もりを子どもたちもずっと忘れないことでしょう。



古い眼鏡収集（LIONSクラブとの共同募集）

何人もの途上国の人たちや子どもたちが、眼鏡が無いことで仕事・勉強・生活などに支障が出ています。皆さんが使わなくなった眼鏡で、誰かが明るい毎日を送ることができることを願い、ご家庭の協力を得て、続けています。



古切手収集（LIONSクラブとの共同募集）

日本や海外の切手コレクターに買ってもらいます。キロ単位で、1kgが1,000円くらいになるそうです。そのお金を発展途上国に寄付しています。



書き損じ葉書収集（室蘭ユネスコとの共同募集）

切手付未投函葉書で書き間違えたり余ったりして使われていないものを集めます。それをお金に替えて、切手同様、発展途上国に寄付しています。

みんなであつめました。
つかってください。

ユネスコ・フォーラム (市内ユネスコ・スクール)

1年間の、活動の報告会を、毎年市内のユネスコ・スクールが集まって行います。日々の活動の報告することで、お互いに刺激を受け合い、ユネスコ・スクールの絆が一層強まります。園児たちは、ハートフルな『歌と踊』と『手話』で、会場内の空気を優しく盛り上げます。



歳末共同募金活動 (ゴマちゃん募金)

毎年クリスマスの時期に『ゴマちゃん募金箱』を設置しています。自分たちのお小遣いをお家の人と話し合って少しずつ持ち寄り、小さな手で一枚ずつ大切にゴマちゃんのお腹の中に募金のお金を貯めます。今年は胆振東部地震の募金活動も行いました。室蘭でも、停電・断水になり子どもたちの生活にも影響がでました。そんな中でもっと自分たちよりも困っている人たちがまだいる事を知り、ご家庭での協力もあり、歳末共同募金を含め2回の募金活動をし寄付する事ができました。



歳末助け合い演芸大会出演 (チャリティー共同募金)

毎年、社会福祉協議会で主催する演芸大会に年長さんが出演！大きな舞台で樽太鼓を披露する伝統の行事です。ステージを駆け回り、堂々と格好良く演舞する姿は、客席から大きな拍手と歓声があがります。客席の皆さまには子どもたちの元気パワーをお届け、チケット代は募金として困っている方々に寄付されます。年少・中の子どもたちは年長さんのあこがれの眼差しを見て、次は自分たちの番という期待と憧れの気持ちをもつ事が定着しています。



他にも、英語あそび、もちつきやクリスマス会などの様々な行事、ゴミ拾いなど等・・・。

日々の幼稚園生活の中でも様々なことが“ユネスコ・スクール”活動に繋がっています。

ここ数年は、『緑のカーテン』や『ちびっこ農園』で様々な野菜を育てるなど、緑を増やす活動や食育にも微力ながら挑戦しています。この活動を通して、『相手の気持ちや立場を理解』することを覚え、園の教育方針でもある『思いやりの心、人を愛する心』など、…『心』を育てることに大きく役立っていることが感じられます。

幼児教育は、人間形成の為にいちばん大切な『根の教育』です。

大きな木は、土の中で立派な『根』により支えられています。根がしっかりしていれば、雨風にも負けないたくましい木が育ち、やがて大きく枝葉を広げて綺麗な花を咲かせ実がなります。

人間も全くおなじ！ 発見したり創ったり、喧嘩したり思いやったり…。好奇心に満ち溢れた幼少期だからこそ、ユネスコ活動を通して、人間としての基礎の部分を大切に、本気で遊んで、自らすすんで積極的にチャレンジしていくことで『生きる力』を身につけ、人としての『根』の部分をつくっていくのだと感じます。

『生きる力』が強い人は、自ら決断し、人生を幸せに歩む基礎が備わっています。人に対して『思いやる心』もどんどん大きくなってゆくことでしょう。この活動は、それがわかりやすく形として現れます。これからも『小さな園児にも出来る&解るユネスコ活動』を模索しながら続けていきます。